



東日本大震災

(2011.5.7発行)

全難聴対策本部ニュース 第1号

【発行責任者】東北地方太平洋沖地震全難聴対策本部長 高岡 正

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町14-5 MSビル市ヶ谷台1階

TEL:03-3225-5600 FAX:03-3354-0046 E-mail:zennancho@zennancho.or.jp

■高岡正 理事長挨拶

東日本大震災及び一連の災害で亡くなられた方々に心より哀悼の意を、また被災された多くの皆様にお見舞いを申し上げます。

3月11日、この日を境に私たちの生活は一変しました。相次ぐ余震。進まない仮設住宅。原発事故のために長期化する避難。さまざまな不安を抱えながらの生活。

全難聴では支援活動を皆様とともに腰を据えて進めるため、取り組み状況をお伝えるニュースを発行することになりました。

■全難聴対策本部メンバー紹介(3/25時点)

本部長 高岡正

副本部長 川井節夫、黒田和子、川場充、

新谷友良、下出隆史(全要研副理事長)

本部事務局長 佐野昇 次長 小川光彦

本部員 高木富生 須山優江 青柳俊三

伊藤実 全難聴事務所職員(敬称略)

■全難聴の活動方針

・被災地各協会、東北及び関東の近隣協会と全難聴対策本部との連絡網を立ち上げ情報交換・共有する。

・対象…東北ブロックの全協会。近隣は茨城、



4月2日(土)、宮城県難聴対策本部に全難聴からの支援物資を運び込む。左から高岡理事長、松本・宮城難聴理事長、村田・宮城難聴対策本部事務局長。

長野、新潟、千葉、群馬、栃木、埼玉県。

・現地から出される支援の要望を受け止め、本部対応する。特に被災した聴覚障害者のコミュニケーション面の支援に努める。

・主に厚労省等政府関係機関、補聴器・人工内耳関係企業、自治体、避難所に対し、上記コミ支援の要望、調整を担う。

・直接支援活動は、現地の方々中心に対応。

・ブログ、ツイッター等での情報支援、広報。

・(財)全日本ろうあ連盟中心に立ち上げられた東日本大震災聴覚障害者救援中央本部、日本障害者フォーラムの対策本部等とゆるやかに連携しつつ、要望・支援活動を展開する。

・NPO全国要約筆記問題研究会と協働する。

4月2日(土)、会員が被災した宮城県南三陸町で。3/11の津波は海から数百m離れた家の土台も根こそぎ破壊した。



4月2日（土）、南三陸町で被災し入谷小学校に避難していた会員のAさん（中央）とお会いできた菅井・宮城難聴事務局長（右から二人目）等の一行。支援物資をお渡しした。

■現地協会の安否確認・支援状況

1) (特)みやぎ・せんだい中失難聴者協会

被災直後からみやぎ・せんだい難聴の対策本部が活動。会員76人のうち74人は3月中、全員が4月中に安否確認済み。但し親族が亡くなったり、家屋損壊など大きな被害が出た方も何人かいます。被災直後から広範なエリアで電気、ガス、水道などのインフラが止まり、現在も生活に大きな影響が出ています。

4月2日に全難聴の現地対策本部をプラスヴォイス社に置くことが決まりました。会員への被災状況アンケート調査や、ソフトバンク携帯の活用、支援活動に、他の模範となるめざましい取り組みを懸命に進めています。



岩手難聴に届いた支援物資の補聴器電池を持つ樋下会長。立入教授（愛媛大）から被災地に送られたもの。4月3日（日）、岩手難聴事務所（盛岡市）で。

2) (特) 岩手県中途失聴・難聴者協会

岩手難聴の会員の安否は連絡網の断絶等で大変確認に苦心してましたが、関係者の協力を受けて4月中にやっと68人全員の無事がわかりました。停電などで生活基盤に大きな影響を受けている方が多く、当初樋下会長とFAX連絡もままなりませんでした。

4月3日に高岡理事長が全難聴からの支援物資とともに訪問したときは、会員が集まって会報発送作業をしてました。それぞれ生活環境の問題やストレスを抱えているようで



4月3日（日）、福島難聴へ全難聴からの支援金、物資をお渡しする。左から佐野事務局長、倉島・福島難聴事務局長、全要研福島県支部長の丹治さん、村松・福島難聴会長。

す。精神面のケアなど、専門家の支援が必要かもしれません。岩手県では聴覚障害関係者全体の県レベルの対策本部が4月3日に発足。連携活動を働きかけていきます。

3) 福島県中途失聴・難聴者協会

福島難聴の会員45名のうち、被災後1週間で約30人、4月にやっと全員の無事を確認しました。福島県でも最大震度7を観測、ライフラインに大きな影響。強い揺れでアパートが破損し、修理のため退出を求められているが行き先がなく困っている会員も。

浜通りの津波被害が大きかったのですが、幸い会員で津波被害の連絡はありません。さらに事態を困難にしているのは原発事故です。多数の役員、会員、要約筆記者がバラバラに避難し、協会としての組織的活動が大変困難な状況です。ここもJDFの現地対策本部が立ち上がっており、連携を進めています。

■全難聴の義援金取り組み状況

全難聴では被災された中途失聴・難聴者、関係者支援活動のため「災害義援金」を募っています。4月30日現在約**736万円**です。引き続きご協力よろしくお願いいたします。

・送金先 郵便振替口座

00180-9-576172 (社)全難聴
※お願い 普通の振込用紙を使用の際は「通信欄」に「東北地震義援金」と明記下さい。

■全難聴災害対策本部ブログと中央本部 HP
東北地方太平洋沖地震全難聴対策本部ブログ

http://blog.goo.ne.jp/zennan_saigai
東日本大震災聴覚障害者救援中央本部
<http://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/>

■このニュースは毎月上旬発行予定です■